

30周年

春
夏
秋
冬

四季のコンサート だより

2013年4月1日発行
静岡音楽友の会
事務局 静岡市伝馬町19-3
TEL・FAX 054(253)7789

おかげさまで30周年 ～思い出の一コマ～

四季のコンサートも県民の皆様のご支援と演奏家の皆様のご理解とご協力を頂いて、今年30周年を迎えることが出来ました。

スタッフ一同心よりの感謝と御礼を申し上げます。

過ぎてみれば30年も経っていることが信じられないほど速い時の流れでした。が、一つ一つ思い出すと30年の時の重みを感じます。

どのコンサートもそれぞれ思い出になるものばかりですが、なんといっても世界の指揮者小澤征爾先生が学生を引き連れてバスに乗り東名高速を走って静岡入りし、真っ先に楽屋に入って見えた時は思わず「足がある。幽霊では無い！」と思ったものです。契約書を交わしたのは演奏会の3日前。万が一キャンセルになってもよいという覚悟でお招きしました。クラリネットのカール・ライスターさん、オーガエの宮本文昭さんもオーケストラに参加して下さいました。

ヴィオラの今井信子さんが初年度にお見えになった時は、3歳のお嬢様を連れての演奏会でした。やさしいお母様ぶりで演奏もお人柄もとてもすてきでした。先日、古希の記念リサイタルを東京でされ、トップアーティストとしてますます円熟されています。近いうちに3度目の演奏会をお願い出来たら、と念願しております。

ギャリック・オルソンさん（ピアノ）はリハーサルで一度も本番の曲を弾かず、メトロノームをかけながら現代曲の練習をするばかりでしたが、本番はミス一つなく完ぺきかつ感動深い演奏でした。

音楽家ではないのですが、京都の聖護院門跡の修験僧の皆様によるホラ貝は大変興味深いものでした。コンサート会場では初めてとのことでした。最後に和太鼓と共に唱えられた般若心経は全身がぞくぞくするほど衝撃的で、感動いたしました。音楽の原点かもしれません。リズムは単純ですが、それ故に迫力があり、人の心を動かす力に溢れていました。

数々の感動と思い出にあふれた30年に改めて感謝を捧げたいと思います。

代表 三城苑子



中央は若き日の小澤征爾



聖護院門跡の修験僧の皆様によるホラ貝の演奏